

就職活動は  
どんなスケジュールでしたか

学部3年生の8月に大和証券のインターンシップに参加したのが最初の活動でした。インターンシップはその他にも金融系企業2社のプログラムに参加し、情報収集を進めました。年が明け、一部業界では4月からエントリーが始まっていました。が、本命の金融業界は6月頃から本格的にエントリー受付が始まりました。8月に入って面接が始まり、第一志望だった大和証券に無事内定をいただき、就職活動を終えました。

志望業界と内定先は

父が資産運用をしていたことから金融業界に興味を持ち、インターンシップに参加しました。インターンシップで交流した社員は意外にも理系出身の方が多く、「商品開発やリスク管理業務などで数式が多く用いられている」という話を聞いて自分のやってきたことが活かせそうだと感じ、金融業界への興味が高まってきました。  
大和証券のインターンシップ



で職場の雰囲気を感じられたことは、志望企業を選ぶうえで非常に参考になりました。その時にフォローしてくださいだった社員の方々が親切で人間的な魅力が大きく、また、他のインターン参加者とも息の合ったチームプレーができ、こんな仲間と一緒に働きたいと思いました。  
企業選びの際には「女性が働きやすいか」ということも重視していました。金融業界は、どの会社も制度はそれなりに整っていたのですが、大和証券では実際に子どもを育てながら活躍している女性社員の話を聞くことができ、「多様なロールモデルがあり、この会社なら女性が長く活躍できそうだ」と具体的なイメージを持てたことも、入

【就活データ】

- 就活開始：2014年6月
- 就活終了：2015年8月
- 志望業界：金融
- エントリー：20社
- 面接社数：10社
- 内定社数：2社
- 内定先：大和証券株式会社

## Case 01 就活体験談

### 意外なところにも、理系の知識を活かせるフィールドがあった

お茶の水女子大学 生活科学部 人間環境科学科 4年 金子 早紀

社を後押しした決め手となりました。

就職活動で  
一番苦労したことはなんですか

スケジュール管理が一番大変でした。2016卒は就活スケジュールの変更があったため、様々な噂が飛び交っていて、先の見えない辛さがありました。私は、「とりあえず今できることを全力でやる」と考え、説明会にはとにかく参加するなど、まずできることから動いていました。また、学業でも研究を進めないといけなかったため、エントリーから面接までの期間で少し時間の空いた7月に、まとめて研究に没頭する時間を作りました。両方やりながらだと、どっちつかずになるので、期間を決めたことが私にとっては良かったです。

もう一つ苦労したのは面接です。最初のうちは、緊張して何を言っているかわからない状態でした。そこで、大学のキャリアセンターで面接の練習をし、「言い方が弱い」など具体的な指摘をもらい、改善することで自信がもてるようになりました。また、テンプレートの答えでは

なく、「面接官とコミュニケーションをとるように、その場で質問の意図を考えて話すようになりました。」

就職活動で大切だと感じたことは

早め早めに取り組むことが大切だと感じました。特にインターンシップは、エントリーシートや面接の練習になるので、早期に参加できたことは良かったです。また、インターンシップに参加したことで、就活に対するアンテナの感度が高まるなど、意識が変わるので一回でも参加することが重要だと思えます。

これから就活に臨む読者への  
アドバイスをお願いします

私が就職活動を通じて「金融業界でも理系の知識が活かせる」と、気付いたように、自分の研究に直結している分野以外にも、その知識を活かせるフィールドがあるはずですよ。とにかく早くから動き始めて、先入観を持たずに幅広い業界を見てほしいですね。

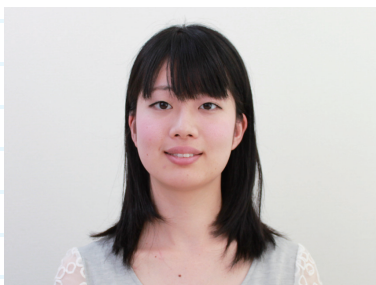
### 就職活動は どんなスケジュールでしたか

就職活動に備え、修士1年の10月からES添削などを目的に大学のキャリアセンターに週1のペースで通いはじめました。11月に入ってから外資系化粧品メーカーの説明会に参加し、12月にCRO、2月に外資系診断薬会社のインターンシップに参加しました。3月に入ってから50社くらいにエントリーし、そのうち20社ほど説明会に参加。16社の選考に進みました。

私は研究や学会で就活準備にあまり時間を割けず、半日〜1日といった短いインターンシップしか参加できなかったのですが、それでも得るものは大きかったと感じています。ひとつは、研究職以外にも臨床開発職など、理系の知識が活かせる仕事があることができました。また、チームに分かれ互いに足りない力を補い合って課題に取り組むという内容のインターンでは、働いたことのない学生でも仕事における信頼関係の大切さや、チーム力の重要性を実感することができました。

### 志望業界と内定先は

医療、化粧品、トイレットリー業界を中心に就活を進め、最終的に外資系診断薬会社の営業職と、内定先であるテルモ株式会社が開発技術職から内定をいただきました。社風も異なり魅力的でしたが、「私は何を仕事にしたいのか」と立ち返ったとき、「研究をしたい」という思いが決め手となりました。また女性の活躍支援が充実しているため、結婚、出産後も長く働き続けられそうだと感じ、テルモ株式会社を選びました。



#### 【就活データ】

- 就活開始：2014年11月
- 就活終了：2015年8月
- 志望業界：医療、化粧品、トイレットリー
- エントリー：50社
- 面接社数：16社
- 内定社数：2社
- 内定先：テルモ株式会社

#### case

## 02

## 理系女子の

### 一人で就活するのではなく、多くの方の協力を大切に！

東京理科大学大学院 総合化学研究科 総合化学専攻 修士2年 出口 加奈子

### 理系ナビのサービスは いかがでしたか

メルマガで送られてくる内容をチェックするなどして、就活に必要な情報を収集しました。限られた時間の中で、就活と研究の両立は大変です。みなさんにはぜひ、研究室で「理系ナビ」の冊子を手に取って、できるだけ早い時期から就活への意識を持ち、準備をしていただきたいと思います。

#### 就職活動で

#### 一番苦労したことはなんですか

国語の試験が一番苦労しました(笑)。試験内容には傾向があるので問題に少し慣れておくだけでも十分効果があります。私の場合、研究や学会準備で試験対策まで時間を取れなかったの、そこには悔いが残りますね。早め早めに問題集に目を通して傾向をつかんでおくことをおススメします！

#### 就職活動で大切に感じたことは

自分にしか得られない情報を大切にしていました。WEBサ

イトは誰にでも見られる情報ですが、OB、OGから聞ける話などは、自分しかない生の情報です。志望していない業界や職種でも、そこで働く先輩たちの話やアドバイスは自分では気づかない指摘も多く、ためになりました。

#### これから就活に臨む読者への アドバイスをお願いします

先生や同期、学部で卒業し就職した友人、OB・OGの協力を得ながら、就活に臨んでください。私は就活の途中、「自分は研究に向かないのではないかと悩んだ時期がありました。そのときある先輩が、企業の研究職というのは、実験をするだけでなく効率的に研究を進めるためにラボ内の配置や対策を考えるなど、様々な役割があることを話してくれました。研究職といてもいろいろ関わり方があることを知り、自分にもできる仕事がありそうだと自信につながりました。たくさんの方から頂くアドバイスに耳を傾けて、後悔のない就活をしてください！